



在京古高同窓会 会報 第15号

〒133 東京都江戸川区
北小岩6-10-1
在京古高同窓会事務局
3672-7015
FAX 3672-1147
印刷：(株)ケーヨー

高田馬場、一足早く梅雨明けに！

平成7年度総会・懇親会大いに盛り上がる！

夏の開催に変わってから、3度目となった平成7年度の総会および懇親会は、さる7月8日の土曜日、午後2時から高田馬場の千代田平安閣において開催されました。

今年も生憎の雨模様となりましたが来賓、招待者を含め12名と、例年並みの人数を集め大盛会となりました。蛍雪健児の熱気で高田馬場地方は、一足早い梅雨明けとなったようです。



初めに、5階椅子席の会場で総会が行われ、伊藤会長の「旧制古中時代が原点であったからこそ、30年におよぶ国会生活を続けてこられたのだ！」と同窓生にとって心強い挨拶で幕を開けた。昨年に続き、司会は尾崎章さんで議事進行は片平事務局長が担当。平成6年度の活動報告、決算報告等が審議され、次々と承認された。6月の役員

会で副会長に推挙された27年卒の春田紘輔さんの件及びその他役員の改選案も原案通り承認され、すべてが手際よく進められたためか、最後の多藤副会長挨拶まで僅か20分で終了した。

続いて、34年卒の堀淵(旧姓横沢)宜男さんの「ふるさとのことば」と題する講演(講演要旨は2面に掲載)に入りました。故郷を離れ、何年経っても訛り(故郷の言葉)とは懐かしいものです。大いに興味をそそられる内容で聴衆も満足気でありました。

講演終了後は、7階に会場を移しての懇親会です。司会は37年卒の中鉢泰平さんに交代し、再び伊藤会長の挨拶が始まり、続いて来賓として母校からご出席いただいた野村喜太郎同窓会長、高橋健三(30年卒)新学校長が挨拶。その後も招待客の挨拶が続く、待ちに待った乾杯です。音頭は出席者中最年長の5年卒永沢幸七さんです。

乾杯が終わり、ようやく祝宴となりました。今回のアトラクションは29年卒の小野賢次さんのご紹介で、古女高39年卒渡辺やす子(東大崎出身)さんによるふるさとの民謡「さんさ時雨」と「長持唄」でした。素晴らしい喉を披露していただき、一段と談笑に弾みがつきました。圧巻だったのは30年卒の皆さんです。久しぶりに同窓からで

年会費未納の皆様へ

この会報とともに振替用紙が入っている方は、年会費が未納となっております。より活発な同窓会運営のために納入下さるようお願いいたします。なお、行き違いで納入の際はご容赦下さい。

た高橋新校長の同級生たちです。総勢10名ともなれば、賑やかなのは当然ですが、次回はもっと集まりそうな勢いでした。ずんだ餅とカラオケもすっかり定着し、広い会場も狭く感じるほどの盛況でした。



今回も、現役の大学生が駆けつけてくれました。壇上に紹介されると拍手の嵐です。53年卒浅野さんのリードで校歌、図南歌がくりだされると、場内は最高潮に…。中締めは、毎回恒例の春田さんの一本締めです。副会長として最初の仕事でもありました。最後は、片平事務局長の挨拶で閉会。「新年会で再会しよう」と散会しました。夏の総会は、3年連続の雨となりました。来年こそは、きっと晴れると思いますので、半袖シャツのラフな格好で気楽に参加しましょう。

品質管理と人材育成

学校長 高橋 健三



懇親会で挨拶する高橋健三新学校長

「質実剛健」を校是とし、荒雄川の水で育ったから気が荒いといわれる古以来百年の間に小学校の就学率が100%に達し、更に戦後五十年の間に高校への進学率は97%に達した今日、高校にも種々新たな諸問題は発生するに至り教育改革といつて昨年度より大幅に教育の内容を改善しております。具体的には①男子生徒に「家庭科」を履修させ、簡単な料理実習を体験させる。

②一学級40人編成の高校にする。③履修科目を大幅に選択制とし個人の自主性を重んずる。④習得単位数を軽減して「ゆとり」をもつ⑤土曜日は月二回休日(学校五日制)とする。⑥。学校教育を必然的に大幅に変化させ21世紀を迎えようとしている。

本校は、明治30年に創立され、大崎地方の青少年の教育を担当し、98年間後期中等教育機関として役割を果たしてきたが、今日に至って過疎と少子化現象などで定員割れであったり、入学生の実力差が大きく、進学指導や生活指導に従来にはない工夫が必要となり諸先輩達が経験しなかった、きめの細かなコストのかかる高校教育の必要性を感じています。また、地域的に高速道路網の整備、新幹線利用など仙台区指向も強くなっている。

本校は地域住民にも中学生にも魅力ある高校に変わり、品質良好なブランド品のような信頼される付加価値の高い人材、即ち、時代の変化に速やかに対応できる人材の育成を目指し、教職員一同努力して参りますので、同窓諸兄の更なるご支援をお願いいたします。

先日は、在京の同窓会にご招待いただき厚くお礼申し上げます。同窓諸兄のご活躍の姿に接し、大変心強く感じました。今後のご発展を心待ちに申し上げます。さて、今日までの日本の産業の発展は、世界に例を見ない速度で達成され我々の生活の場においても、生徒達がスポーツを楽しむ場合でもブランド品を所有し、生活をエンジョイしております。これは、商品を製造する企業がよりよい製品を提供すべく、あらゆる努力を積み重ね社運を賭けて提供しているからです。粗悪品だったり、製品が原因で事故が発生した場合などは、損害賠償の問題にもなりかねません。従って、企業では原料の仕入れから出荷まで、入念な品質管理を行い、製品に自信と誇りを持って社会に送り出しているからです。

吾々学校教育に携わる者は、毎年三百数十名の生徒を世に送り出しているが、教師も生徒も世間からどんな期待をもたれているのであるか。入学時に選考し、在学中も数十回のフルイにかけて社会に送り出しているが、ブランド品のような信頼性はどうか。もっともより品と人とは同じ基準で比較す

講演要旨

「ふるさとのことば」

昭和34年卒業

堀 渕 宜 男
(旧姓 横沢)

数年前、ちょっとしたきっかけから同郷出身の仲間4人と大貫弁研究会を結成。2年がかりで、ふるさと大貫のことばを集め、一昨年の3月に「大貫のことば」として自費出版しました。

ことばを集めようと思ったのは、関東4都県に居住する田尻町出身者の親睦会であり「在京田尻会」での些細なことからです。数年前の田尻会ではたまたま私が思いつくまま、昔使っていた大貫のことばを1枚の紙に書いて皆さんにお見せしたら、大変喜ばれたことがあります。地縁、血縁と同じように、言葉による繋がりもあるのではと感じたのが始まりです。

その時は、ただそれだけの事でしたが、その後、何度か田舎に帰っているうちに、あることに気がつきました。話している言葉自体が違ってきているのです。私達がしゃべっていたことばは、いわゆる方言といわれる独特のことばは、ほとんど出てきません。多少訛るとか、語尾の変化は残っているもののほとんど標準語となっているのです。そのうち、方言はなくなるのでは、という感じを受けました。

その頃の新聞に、方言を見直そうという運動が日本各地に広がっているという記事があって、その時初めて自分も「大貫のことば」を記録に残したいと考えました。そこで、次の田尻会の時に、気の合う仲間と話したら、是非やろうということになり「大貫弁研究会」が発足、活動を始めたわけです。

大貫弁研究会のメンバー5人中4人が大貫地区の出身で、もう1人は田尻地区の出身で、戦後大貫小学校で教鞭をとっていた方です。このうちの一人



は、古高の1年後輩の稲葉光亮さん。一人は古川工業高校のOB、この方がかつて先生だった方です。後の二人は涌谷高校のOGですが、大貫中学の同級生と1年後輩です。全員、ことばについては素人ばかりです。

本の題を「大貫のことば」としました。田尻のことば「でもよかったのかもしねません。しかし、私たちが敢えて「大貫」に拘りました。何故かというところ、ことばというものは地域により、微妙な違いがあったから。特に、大貫の場合、私達が育った頃は自動車もバスも通ってない陸の孤島で直ぐ隣の田尻や沼部のことばと微妙に違うことに、小さい時から気づいていたからです。村名の由来が平安初期の征夷大将軍坂上田村麻呂が蝦夷征討後に、現在の茨城県の「おおもき」という地域の住民を移民させた名残との話も伝わっており、ことばもそれぞれ

地域の歴史を背負っているという意識もありました。

従って、方言の収集は、出来るだけ昔からの同一集落に限った方がよいと考えたのです。大分前に作られた田尻町史にも「田尻の方言」が掲載されていますが、大貫地区では使っていないことばも含まれており、その感を強めました。もっとも、違ふとはいってもそれほど多いわけではなく、元のことばは同じなのですが、アクセントや語尾の変化が違うのが大多数です。

集めた大貫のことばについて、その特徴を整理しましたので、紹介したいと思います。例えば「さげっこ」とか「でえごんづげ」のように、ことばが濁るのは、東北弁全体の特徴ですが、ちょっと整理すると、一定のルールがあることがわかりました。つまり、濁るのは、「か行」と「た行」の音が、その単語の第2音節以降にきた場合「さ行」「は行」の場合は、ほとんど濁りません。もう一つ、面白い発見と

思ったのは、「か行」の場合、濁ったときは、すべて鼻音化しないで「がぎぐげご」と発音することです。例えば「ドアのかぎ」とか「自転車のかぎ」とかは、初めから濁っていることばなので、鼻にかかって発音しますが、木になる「柿」の場合は、「かぎくいになや」と鼻にかかりません。それから、ことばの第2音節以降に「ら」の音があると、欠落するが別の音に変わるといふ特徴も見られます。例えば、苗代や柱などですが、発音すると「なわしろ」は「なわっしょ」に「はしら」は「はっしや」となります。また、「先生」とか「仙台」は「しえ

んしえい」「しえんでえ」と「せ」を「しえ」と言いますが、これは、標準語の「せ」が「しえ」に訛ったかと思っていたんですが、そうじゃないんです。かつて、奈良、平安の時代に京都では「しえ」と発音していたのが関東地方の方言である「せ」になったのです。たまたま、関東のことばが標準語になったからです。元々は、私達が使っていた「しえ」の方が由緒正しかったのです。九州や四国でも「せ」を「しえ」というようですが、かつて中央で使われたことばが地方に残っている例だと思います。

ことばの伝播の仕方、周囲現象というのがあります。これは、中央で新しいことばが作られたり消えたりしている訳ですが、それが速く地方へと伝播して行き、遠く離れた地域に古いことばが残る現象のことです。

この「しえ」の他に、とんぼの「あげず」、疲れる意味の「こわい」、空にあげる風の「てんばた」などの例が挙げられます。これらの言葉は、九州にも残っているようです。

なんと言っても最大の特徴（これは東北弁共通だと思います）は、接尾語というか、文の最後につくことばの豊かさです。試しに「そうです」という意味の「ほんでがす」につながら接尾語を拾ってみると、つぎのように

- ほんだがら
- ほんだがわ
- ほんだちや
- ほんだちやわ
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね
- ほんだつね

■ほんだがすとーとなります。ひとつひとつ、ニュアンスが違います。こうしてみると、標準語というのは、意思を機能的に伝えるには便利ですが、人の気持ちや情景を伝えるには方言に遠く及ばないような気がします。

東北出身者は、東北独特のズービーをしゃべるといっただけで、長い間大きなハンディを背負って来ました。東北弁をしゃべることが、大きな劣等感となっていたわけですね。

これは、明治維新で敗軍となったことに原因があるような感じがします。東北はほとんどが敗軍で、しかも敗軍となったため、その独特の方言でいく東北出身者とわかってしまい、馬鹿にされたのではなからうか、それが、後々までの大きな劣等感の原因になったような気がします。また、明治時代の有名な評論家、高知出身の大町桂月という人が、「日本のことばの中で一番きたないのは東北弁だ」といっており、こういってことなど東北弁の評価に繋がったようです。

しかし、最近、地方のことばは見直されて来ています。観光客誘致のためのキヤッチフレーズにも、その傾向が見られます。「きんさいな、島根県へ」「すきやねん、大阪」「めんそーれ、沖縄」—どうです。標準語よりも何となく旅心を誘うような感じがします。が、いかがでしょうか。

ことばというものは、その地域地域の気候や風土、文化に合わせて発展するものですから違ふのは当然で、もっとも上下関係などはないはずのものです。私たちは、もっともっと自分たちの地方のことばに自信を持ってほしいのじゃないか。

これを機会に、皆さんが、自分達がしゃべっていた田舎のことばを考えるきっかけになれば幸いです。

総会の決定事項より

1面での総会記事でご報告の通り、先般行われました平成7年度の総会におきまして、平成6年度の決算報告、活動報告と平成7年度の予算案、活動計画案および役員改選案が出され、これら全ての議案が満場一致で承認されました。

本来なら、すべての承認事項を掲載すべきところなのですが、紙面の都合によりまして、ここでは、平成6年度の決算報告書と役員改選で、新たに副会長に選任されました昭和27年卒業の春田紘輔さんをはじめ新役員となりました皆さんの顔ぶれのみ掲載とします。ご了承くださいませようお願いいたします。

平成6年度決算報告 (平成6年6月1日～平成7年5月31日) 単位:円

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenses). It lists various categories like '前年会費' and '会議費' with their respective amounts, totaling 7,832,554 for both sides.

新役員顔ぶれ

(任期:平成7年6月1日～平成9年5月31日)

Table listing new board members. Columns include position (e.g., 会長, 副会長), name, and graduation year (e.g., 昭45年卒, 昭47年卒).

Advertisement for 'Keio' (ケヨー) services. Features text: '文字情報入出力', 'コピーサービス', 'テレホンカード', 'トレース製図', '完成図書', '総合印刷'. Includes contact info for 早坂清吉 (Suzuki Kiyohiko) and address in Tokyo.

Advertisement for 'Sumitomo Electric' (住友電設株式会社). Features a graphic of a city skyline and text: '人と都市の', '快適な環境をつくります。', '住友電設株式会社', '社長 三浦澄能 (Saito Shigenori)'. Includes contact info for Tokyo and Osaka offices.

暑中お見舞い申し上げます

今年の総会には、旧富永村出身者が4人も集まって実に愉快でした。各種の同窓会には、何はともあれ、出席してみることですね。

昭31 尾崎 章

資産デフレを戦略的に活用して、どこよりも広くて安いマンションを供給すべく奮闘中!! 凶太く大恐慌を楽しんでいます?!

昭47 小嶋 進

老いたりといえど、ふけこまず、何か新しいことに取り組み、日々を過ごしたいと思えます。

昭7 多藤 省徳

佐々木光一路先輩にご指導・ご協力を頂き、京急蒲田駅前に大学受験指導専門の塾を開きました。よい学校に成れば幸福です。

昭53 浅野 勝弘

「古高三期会」昭26卒の皆さん、来る9月15日古川市「芙蓉閣」で集りが催されます。在京から一人でも多く、参加いたしましょう。昭26 佐藤 芳夫

昭26 遠藤 惇

ここ数年、須川温泉に避暑に行っていました。今年はやめ、ゆっくり帰郷して墓参の予定です。

昭26 遠藤 惇

東京都軟式野球連盟の公認審判員で、毎週日曜日は、夕方までグラウンドを走りまわって、いい汗を流して気分爽快です。

組織強化委員長 昭34 穴戸 志智

一昨年冷夏。昨年猛暑。今年如何。迎五十三之夏。同期野郎子達皆元気哉。今秋再見嬉待。近日中送案内。乞御期待。売股音。昭36 佐藤 文彦

昭36 佐藤 文彦

暑中御見舞い申し上げます。世の中移り変わりが早く、もう少しのんびりならないのかなあ...と、一人思っております。昭27 佐藤 清勝

昭27 佐藤 清勝

古川国民学校卒業五十周年記念の集いの案内を頂きましたが、都合がつかず残念ながら欠席としました。次回は、ぜひ参加したいと思っています。

昭27 春田 紘輔

暑中お見舞い致します。同窓会の高一層の充実発展のため、微力乍ら全力を傾けて参ります。各位の御協力を願います。

在京同窓会長 昭16 伊藤宗一郎

健康第一。21世紀にも元気で、頑張れるよう。再び、柔の道にいそめたいと思います。昭22 半田 実

昭22 半田 実

戦争で失った学友の3倍も生き抜いて戦後50年。人生のチェックアウトを目前に感慨無量。8月久しぶりに鳴子での小学校同級会に参加。

昭18 渡辺 三男

同窓会のみならずの発展を祈る! 『梅雨期間富士豊かなる掌曳き』一日経連の人材研修センターにて!

大15 師 勝夫

総会懇親会には、老いも若きも集まり易い条件を整え、大崎健児の意気軒昂を示す場としたいものです。

昭9 伊藤 守治

顧問に退き安堵の日々を味わっています。『さあ! やりたいことをやるぞ。』の思いは抑えて、欲張らず、ゆっくり行くことにします。昭17 高橋 淳夫

昭17 高橋 淳夫

暑中お見舞い申し上げます。今年も猛暑となりそうですが、負けずに元気で頑張ります。昭22 竹中 潤郎

昭22 竹中 潤郎

37年卒業生の会を9月22日、鳴子・ますやにて行います。既に一案内済みですが、乞、多数ご参加。

昭37 千坂 孝夫 / 中鉢泰平

「患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出す」私の好きな言葉です。

昭5 永沢 幸七

「心頭滅却すれば火もまた涼し」の意気込みで頑張っています。皆さん元気出して!。

昭23 菅 昇

今夏は、ビッグマックがいくらで食べられるか?、円の強さを実感しに、海の外へ出てみようかと思っています。

昭45 島山 英洋

暑中お見舞い申し上げます

在京「三一会」有志

- | | |
|----------------|--------------|
| 浅野 平 男 (色麻) | 片 平 司 朗 (古川) |
| 生 亀 功 (池月) | 熊 谷 正 俊 (古川) |
| 石 川 勝 夫 (鳴子) | 佐々木 寛 (中新田) |
| 石 川 守 人 (志田) | 佐 藤 勝 (古川) |
| 石 堂 十 六 男 (長岡) | 菅 原 陸 郎 (古川) |
| 大 内 一 正 (中新田) | 鈴 木 和 夫 (古川) |
| 大 石 隆 一 (田尻) | 萩 沢 法 雄 (清滝) |
| 奥 村 信 良 (敷玉) | 益 子 剛 (色麻) |
| 尾 崎 章 (富永) | 松 谷 嘉 男 (古川) |

1996年、卒業40周年記念同期会開催を期待します。

日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事

代表取締役 佐々木 光一路

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
小売部 (エコノミープラザ・ダックス)
電話 (3732) 7700
卸売部 (3739) 2468
FAX (3739) 7234
不動産部 貸ビル・貸マンション

お金もない 仕事もない 何が人に優しい
政治だ いい加減にしてもらいたい

積水工業株式会社 金子 康 (28年卒)
東京都目黒区上目黒2-17-1 (3793)5711(代)~6
仙台支店(022)235-7009

同窓会は出会いの場

昭和32年卒 松田隆輝

さる7月8日の平成7年度の総会には、旧富永村から4人の出席者がありました。その折、尾崎章氏から大先輩を二人紹介されました。

ひとり、昭和20年旧制古中卒業の佐々木廣治さんです。氏は尾崎さんと同じ旧富永村休塚の出身です。「休塚」というところは、自由で、上品で、優れた人々の系脈があるところ（これはヨイショではなく、事実そう感じていましたので）……と、思っていました。などと、随分とお話しさせていただきました。

もう一人は、古高現校長の高橋健三氏です。氏は、尾崎さんの1年先輩で馬放の出身です。私は、馬放の隣の長岡針というところの出身で、ちょうど

平成7年3月11日から12日の土日にかけて、伊豆の北川温泉「望水」にて、われわれ昭和35年卒、第12回生16名が集まって（最初は20名参加の予定でしたが、当日になって4名がやむをえぬ事情によって欠席したため16名となった）卒業後、初めての1泊旅行の同期会が開催された。

この同期会初の1泊旅行を企画したのが、昨年の9月のことでした。この旅行会を機に、あらためて、同期生の消息を再確認し、より正確な名簿にしようとして、その作業を開始したところ、昨年の10月ごろまでには関東地区および名古屋、大阪地区を合わせて80名ほどの所在をつきとめることができた。

早速、この所在を確認した同期生80名に案内状を発送したところ、誠に遺憾ながら、返事が戻ってきたのは、そのうちの半数だけでした。残りの半分は、往復ハガキにもかかわらず、返事がありませんでした。残念ですが、われわれ事務方の非力を痛感しました。

旅行当日は、幸いにも好天に恵まれ、遙かに伊豆大島を眺望しながら、ひととき童心にかえって、裸足になって、春の日の穏やかな波で足を洗ったりなどして、海に遊び35年前の若き日思いたして、早速、旅行気分を満喫しました。

夜の部宴会になると、大いに盛り上がりました。飲みも飲んだり、何とビールと日本酒を合わせて90本。ウイスキーを6本焼酎2本をカラにしての大宴会

昭和35年卒、初の1泊旅行会を実施



が入っては、西瓜や瓜を食べました。尾崎さんは、そんな危険なマネはしなかったそうですが。

懇親会で大いに呑み喰いし、騒いだ後は、そのままの勢いで二次会へと突入しました。大貫出身の高梨利通君が大貫弁で「あねっちゃん、あねっちゃん」と喚きまくり、即二次会場は「あねっちゃん」に決定したのです。総会の後に「ふるさとのことば」という演題で、講演した昭和34年卒の堀淵宜男氏も一緒に出版し、各新聞で絶賛された氏の話しでした。深い感銘を受けました。同じ大貫の出身で、家も近くであった高梨君が強引に誘ったのです。もちろん大貫弁です。

私と堀淵氏（氏は思いっきりやったのですが）とで腕を掴って抵抗したのですが、どうしようもありません。二人ともあっさりとは拉致されてしまい

ました。高梨君は、若い時分から柔道していた人で、あの時分のままのあの体軀です。

二次会でも、どこにそんなに入るのかと思うくらいに牛飲馬食の宴となりました。カラオケも大いに歌いまくりました。最後に、高橋清七郎君が「句いやさしい白百合の、ぬれているよなあの瞳……」と歌い始めたから、みんなが立ち上がって、肩を組み合せて、遠いあの日の風景に思いを馳せました。

ともあれ、富永の先輩達に紹介してもらって親しくお話をさせていただいたし、同級でも、それまでは、あまり付き合ひのなかった同輩達とも楽しく語り合え、堀淵氏という素晴らしい人にも出会えました。

同窓会とは、出合いの場なんだなあと、つくづく感じました。これで、私も水戸から駆けつけた甲斐があったというものです。

となった。また、カラオケでは、我先にと、わが娘と同年代の若々しいお嬢さん方とデュエットなんかして、とんだところで、中年の意気思いっきり吐いたものです。

宴会の最後は、全員が輪をつかって校歌をはじめ、応援歌の……とくを熱唱しまくって、またの同期旅行会の約束をして散会しました。参考までに経費の総額は約92万円でした。

翌朝の海に映える朝日は、東京では到底味わえぬ色を見せ、実にきれいであります。

なお、35年同期会事務局には、既に10人ぐらいの人達から、次回への期待の連絡と催促が入っており、すでに、今秋10月頃の予定として、開催準備を始めたところです。

記 嶺 岸 宗

「在京古高三期会」 第一回ゴルフコンペ開催

昭和26年卒 佐藤 芳夫

四月の「在京古高三期会」の定例同期会の席上で、「還暦を過ぎ、元気で健康な証として、たまには、皆でゴルフでも楽しもうではないか」という提案が出され、遊び好きが多かったせい、すんなり全員の賛同を得た。

早速、東急レクリエーション社長の佐藤進氏に相談。氏の尽力によって、六月二十七日に第一回のゴルフコンペが催されることになった。当日は梅雨の最中ではあったが、めずらしく晴天に恵まれて、東急セブンハンドレッドゴルフクラブに十名の同期生が集まり古高時代にかえって、楽しくワンラウンドを回った。

やはり、旧友と遊ぶのは楽しいもので、ラウンド後、はやくも次回開催の声が出て、東急スリーハンドレッド、ファイブハンドレッドと順次回ること



思い想

三回目の成人式(還暦)を目前にして

昭和30年卒 渡辺 吉郎

六月の中ごろ、在京の同窓会事務局より連絡が入り、役員会に出席するよう誘いをうけました。役員会の席上で会議が進行し、総会本番の内容検討に入ったときに「来賓として校長高橋健三先生が出席しますよ」と、事務局長の話でした。「古高出身で、卒業が昭和三十年、渡辺さんと同期ですよ、覚えていますか」との問いかけでした。

故郷、母校を離れて四十年、時は解決してくれませんでした。同窓会での三十年卒同期の出席は、毎回一名か二名の惨憺たる有様で、同期の校長先生が出席するのと同級生の仲間がいないとなれば淋しかりうと、事務局は心配したのでしょ。

そこで、思案しまして、仲間を集めべく翌日より活動を開始しました。まず、正月の年賀状で挨拶(卒業後の再会なし)を交わしております二階堂幸男(鳴子出身)さんの勤務先に電話連絡して、後日の再会を約束した。数日後、お茶の水駅聖橋口の日立製作所本社前で、四十年振りに再会、感激の一瞬でした。互いに表情はいろいろと変化に富んでいましたが、純な心は変わっていませんでした。

コップ一杯のビールが心を和ませてくれ、仲間の消息を話しているさいに卒業アルバムを取り出し二階堂さんのクラスから高橋健三さんを見つけ、一瞬驚いたが、「同じクラスじゃないか俺も応援するぞ」といつてくれた。それ以降、昭和三十年卒の仲間づくりが始まり、本番の七月八日をむかえ受付時間が刻々と過ぎていくなか、仲



総勢10人の参加で意気あがる30年卒の面々

間が一人二人心配しながら待っている、なんと九人の仲間になっていたので。仲間の友情はなんと素晴らしいことだろうと改めて実感しました。宴の間の僅かな時間が、四十年の歲月の空間を解消してくれました。仲間達よありがとう。散会後は、誰彼ともなく二次会へと向かい、何の会話を交わしたのか、定かではありません。三度目の成人式(還暦)を目前にした今、思わぬきっかけから、四十年振りに仲間たちとの素晴らしい邂逅を果たし、楽しい時間を持つことが出来ました。これを機に、仲間との交流をますます広げ、深め合おうと、十一月下旬に再会を約束。それまで皆健康であらんことを祈る。心地よい余韻が心の片隅に今も残っている。本当にありがとう。

古高在職の三年間をふりかえって

前 学校長 渋谷 候 夫

暑中お見舞い申し上げます。在京同窓生の皆様には、酷暑の季節にもかかわらずますますご健勝にてご活躍のことと存じ上げます。先日は、総会におまねきいただき、誠にありがとうございました。職を退いてから三ヶ月余り、伊藤会長さんをはじめ、お元氣な会員の皆様とお再会できて、しばらくぶりに楽しく充実した一日でありました。

想えば、在京古高同窓会の総会・新年会には、毎回ご案内を頂き、出席出来ること自体が大きな楽しみであったと同時に、その都度毎に多くの先輩方の母校を思ふ熱意に叱咤激励され続けた三年間でありました。この間、私の心の支えになっていただいたことに改めて御礼申し上げます。先輩方の母校・後輩を思う気持ちにどれだけお応えできたかと、振り返る時、内心忸怩たるものが残るものではありますが、特に生徒の進路達成面では心残りなものがありません。今時の高校生は、ただ、いわゆる「今時の高校生気質」に染まらず、自分の将来を真剣に考え、目標に向かって日々努力している生徒、先輩方の築いてくれた伝統の上に、古高生としての矜持を保ち続けようとしている生徒も数多くいることを、皆さんに知っていただきたいと思ひます。この点で「古高魂」は不滅であります。

一方、平成九年に迎える創立百周年の記念事業につきましては、数多くの懸案事項も、県教委はじめ各界のご協力をお願いいたします。古川高校の弥栄と在京古高同窓会の一層のご発展、そして会員皆様の益々の健勝をお祈りしております。

「95しながわ夢さん橋」のお知らせ

皆さんご存じですか。本年も10月7日から8日の土日にかけて、大崎という地名のもとに「95しながわ夢さん橋」が開催されます。楽しいイベントが沢山ありますので、ぜひ、家族そろって出かけ下さい。

皆さんご存じですか。本年も10月7日から8日の土日にかけて、大崎という地名のもとに「95しながわ夢さん橋」が開催されます。楽しいイベントが沢山ありますので、ぜひ、家族そろって出かけ下さい。

記

■期間 十月七日(土)～十月八日(日)

■場所 大崎ニューシティおよびJR大崎駅西口付近中心

■催事 青空バザール、宮城県大崎地方特産物販売、その他のイベントが多数。

※大崎地方の参加市町は、古川市をはじめ全13町が参加します。

巖丈志摩予備学校夏期講習生募集中

お馴染み昭和53年卒の浅野勝弘さんが主催する巖丈志摩予備学校が夏期講習生を募集しています。スタッフは大学受験指導の超一流のプロ講師揃いです。大学受験を控えたお子さんをお持ちの方は、ぜひご相談の上ご利用下さい。

記

- 1. 対象生徒 高校1年生、高校2年生、高校3年生、大学受験浪人生
2. 指導科目 英語、現代国語、古文、漢文、日本史、世界史、文系数学、小論文
3. 目標大学 有名私立4年生大学、私立短期大学
4. 指導講師 都内有名予備校のトップ講師
5. 指導費用 1講座(50分1コマ×16回) 24,000円 (テキスト・プリント代実費2,000円)
6. 応募方法 直接お申し込みか、電話でご相談して下さい。6Fが窓口です。

京急蒲田駅前(徒歩1分)ダックス看板下「巖丈志摩予備学校」03-3739-2567

第2回「古川市内高校関東同窓会—新年の集い」開催



第2回「古川市内高校関東同窓会—新年の集い」は1月29日(日)午後2時から高田馬場の千代田平安閣で開催されました。全国初の合同同窓会として、昨春初めて開催されたこの会は、300人を越す一大イベントとして4校関係者のみならず、古川市を始め大崎の町村に様々な波紋を広げたが、今年も260人と大盛況でした。

数こそ昨年を下回ったが、昨年以上の盛り上がりを見せ、来春の再会を約し大好評のうちに終わった。講演は「一九九五年の日本経済」と題し日本団体生命(株)副社長の鈴木大吉さん(昭和23年卒)がタイムリーな話題を提供してくれました。招待者の方も各校同窓会長、校長の他古川市からも参加いただき、年々輪を広げております。アトラクションも獅子舞、民謡歌謡曲と年々豪華になり来春の3回目を楽しみます。

講演要旨 「一九九五年の日本経済」

日本団体生命株式会社副社長
昭和23年卒 鈴木大吉

「一九九五年の日本経済」とありますが、経済の見通しはそこそこにして最近新聞紙上によく出ております「内外価格差」あるいは「規制緩和」それから「マルチメディア」についてお話し申し上げます。



一九九五年の日本経済見通し

昨年の12月15日に、一九九四年日本の国民総生産の伸びは1.7%という政府の発表がありました。二百名のエコノミストで、この1.7%を越える高成長を予測したのは2人だけでした。どうして予測がはずれたのかといいますと、昨年の猛暑です。この猛暑によって個人消費が伸びたからです。これが94年の経済だったのです。

今年はどういう予測が立てられたかという点、昨年よりは高い2.8%の予想となっています。政府は、景気をはやしたいという気持ちがあるので、少し高めに出すのが普通です。28人のエコノミストの予想では3%以上のV字型回復を予想する人は3人のみ、穏やかな回復と見るのが20人、回答者の平均が2.1%となっています。

経済を押し上げる力は、個人消費もさることながら設備投資です。回復力

が弱いのは設備投資が弱いことによる原因があります。設備投資が振るわない原因としては①バブル時代の最新鋭機械が未だに遊んでいる。②銀行が不良債権を抱え貸し出し態度が厳しい。③生産基地を労働力の安い海外に移転する。④投資意欲が弱い。これが最近のわが国の現状ではないかと思えます。

内外格差と規制緩和

ここに、東京で380円で買ったビッグマックとロスで1ドル94¢で買ったビッグマックがあります。ビッグマックは東京もロスも同じ品物なので、ビッグマックについての円とドルの交換レートは1ドル196円である。ビッグマックの世界では、1ドル196円であれば東京で買ったロスでも買ったロスでも損得はない。この場合、1ドル196円のレートを「購買力平価」という。

ロスでマックを買うためには、1ドル94¢必要である。現在ドルと円の為替レートは1ドル99円ですので192円で買える。東京では380円もするのだから、ロスは192円しか掛からない。したがって、マックの値段は東京はロスの1.98倍である。このような価格の差を「内外価格差」という。

円は強く、外国へ行けば得した気分になるわけですが、それが国内に及んでこないのが問題なのだと思います。

もっとすごいのがガソリンです。日米の比較において、税込みで四倍、税抜きでも3倍の差があります。不思議なことと同じ中東から運んで精製するわけですが、粗製ガソリンのナフサの段階では同じような価格なのに、ガソリンになると3倍の価格差。規制があるからこうならざるを得ない。規制緩和

和といっても難しい問題があります。例えば、ガソリンそのものは輸入できない。消防法が難しくセルフサービスができない。ガソリンを例にとると、スタンドは生産性をあげるため大型化し、人手を減らす。これは雇用の機会所得に影響を及ぼす。しかしながら、一方で日本経済は世界経済の中に組み込まれており、世界経済あつての日本経済です。世界24カ国で構成されているOECDの発表では、もっとも物価の高いのは日本で、その指数は44、米は89、一番安いトルコは46となっています。トルコにいかれたら円の実力を大いに実感されるはずですよ。

規制の撤廃・緩和は、市場メカニズムを働かせ企業の競争を促進し、新しい事業創出の環境を整備するために必要である。当面の失業者数は増加するが、非製造業界を中心に労働生産性が向上し、設備投資も活発になり、新しい有望な事業も創出され失業者数も減ってゆくとみております。

日本は終身雇用が基本であり、雇用調整がなかなかできないわけですが、私は雇用調整に手をつけざるを得ないと思っています。その前に新しい産業の芽を作るような政策転換、もちろん今盛んにやっていますが、そういう視点が必要なんじゃないかと思えます。今、米国で規制の対象になっている産業は約6%ですが、日本は国内総生産の約4割が規制の中で行われております。私達が今食べている食糧のカロリー換算でいいますと、国内で生産されているものは40%もなく、2/3は外国の食糧です。油についてはいうまでもありません。

好むと好まざるにかかわらず、世界経済の中に組み込まれた日本ですから日本もこの世界経済の動きに歩調を合わせて生産性の向上とか、規制緩和あるいは新しい事業の芽を育て、転換していかなくてはと考えております。

マルチメディア

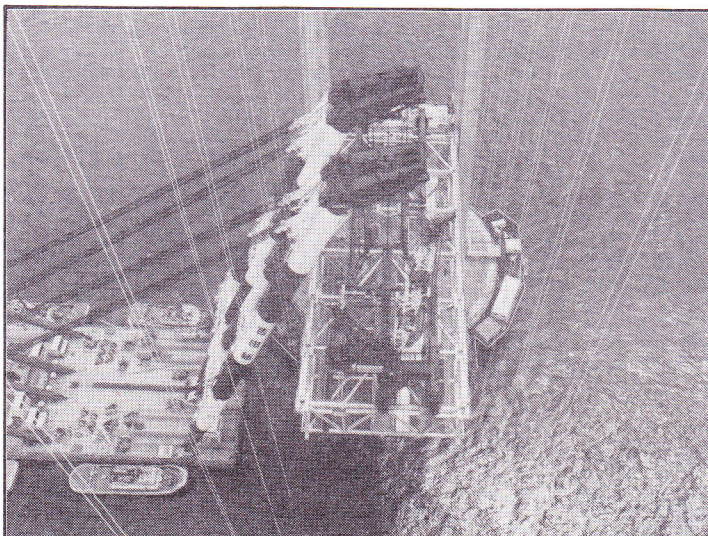
マルチメディアといってもなかなか理解しづらいのですが、ひとつのマルチメディア社会、マルチメディア技術というふうには考えると少し理解が進むかもしれません。後程、米国においていかにマルチメディアが生活の中に入っているか、ビデオ映像で8分間ご覧にいますが、その中にメジャーリーグのミネソタツインズのチケット購入があります。これは、いわゆる銀行のCDと同じように、自分で好きなところをタッチすれば、いつのどの試合で座席がどの辺りか目的が達せられる。面白いのは自分が選んだ席から見た球場全体の情景がうつってくるんです。

マルチメディアには4つキーワードがあって、この4つを理解すると全体がわかるという感じですよ。①「デジタル」—文字、音声、画像、動画などの情報を全部0と1の2進法に組み換えてコンピュータなどの速い演算機能を持つ装置で情報化する。②「マルチメディアパソコン」—CD-ROMプレイヤー、装置で、動画を処理でき、誰にでも使えるパソコンにする。③「ネットワーク」—電話線の15万倍の容量を持つ光ファイバーを家庭まで通そうという構想。日本では「ファイバーツウザホーム」米国では「スーパーハイウェイ構想」といわれているもの。④「双方向(インタラクティブ)」—双方でデータ交換ができる。

こういったことが、規制緩和の後に出てくる新しい産業、新しい技術ではないかと思っております。

平成7年度総会参加者一覧

| | | | | |
|------------------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 昭和5年卒 永澤 幸七 | 昭和20年卒 佐々木 一司 | 昭和30年卒 島田 和夫 | 昭和35年卒 大場 可磨 | 昭和53年卒 浅野 勝弘 |
| 昭和8年卒 及川 八郎 | 昭和22年卒 横山 榮治 | 昭和31年卒 二階堂 幸男 | 昭和36年卒 佐々木 武康 | 昭和55年卒 亀井 明 |
| 昭和9年卒 大場 正治 | 昭和23年卒 竹中 潤郎 | 昭和32年卒 平野 吉郎 | 昭和37年卒 結城 康太 | 昭和58年卒 浅野 修次 |
| 伊藤 守治 | 昭和24年卒 本多 忠昭 | 昭和33年卒 石川 勝夫 | 昭和38年卒 佐藤 文彦 | 平成4年卒 千葉 香一 |
| 工藤 貞孝 | 昭和25年卒 菅 昇 | 昭和34年卒 石堂 十六男 | 昭和39年卒 新川 宏 | 平成7年卒 藤川 剛 |
| 多藤 省徳 | 昭和26年卒 四條 英一 | 昭和35年卒 大内 正章 | 昭和40年卒 千坂 孝夫 | 来賓および招待者 米城 興一 |
| 三浦 亮二 | 昭和27年卒 加藤 忠一 | 昭和36年卒 尾崎 朗 | 昭和41年卒 中鉢 泰平 | 同窓会会長 野村 喜太郎 |
| 昭和10年卒 千葉 憲一 | 昭和28年卒 遠山 仁一 | 昭和37年卒 片平 司朗 | 昭和42年卒 古内 晋典 | 古川高校長 高橋 健三 |
| 昭和12年卒 大宮 正義 | 昭和29年卒 佐々木 達夫 | 昭和38年卒 萩澤 法剛 | 昭和43年卒 菊地 務輝 | 前古高校長 渋谷 候夫 |
| 昭和13年卒 佐々木 喬一 | 昭和30年卒 佐藤 芳夫 | 昭和39年卒 益子 剛 | 昭和44年卒 小杉 誠輝 | 在仙同窓会 高橋 和夫 |
| 昭和14年卒 岩城 有信 | 昭和31年卒 豊原 博 | 昭和40年卒 川口 勝哉 | 昭和45年卒 佐々木 昭美 | 古川女子高 鈴木 富子 |
| 昭和15年卒 小山 豊 | 昭和32年卒 跡部 太一 | 昭和41年卒 佐藤 利通 | 昭和46年卒 木村 久一 | 鈴木 富子 萩原 節子 |
| 昭和16年卒 伊藤 宗一郎 | 昭和33年卒 佐藤 清勝 | 昭和42年卒 高梨 清七郎 | 昭和47年卒 高橋 修一 | 湯本 幸子 |
| 昭和17年卒 高橋 淳夫 | 昭和34年卒 本田 紘輔 | 昭和43年卒 高橋 靖夫 | 昭和48年卒 細川 公夫 | 渡辺 やす子 |
| 昭和18年卒 高橋 勉 | 昭和35年卒 小野 賢次 | 昭和44年卒 長沼 三郎 | 昭和49年卒 渡辺 公夫 | 古川工業高 松下 巖 |
| 昭和19年卒 佐々木 幸雄 | 昭和36年卒 小野 賢次 | 昭和45年卒 松田 隆輝 | 昭和50年卒 細川 公夫 | 佐々木 次郎 |
| 豊島 三悦 | 昭和37年卒 門脇 喜代志 | 昭和46年卒 渡辺 光夫 | 昭和51年卒 藤井 茂樹 | 佐藤 喬一 |
| 新沢 順三 | 昭和38年卒 門脇 敏明 | 昭和47年卒 佐々木 光一路 | 昭和52年卒 佐藤 修司 | 畑 中 京一 |
| 渡辺 三男 | 昭和39年卒 佐々木 英三 | 昭和48年卒 大波 涉 | 昭和53年卒 菅原 博之 | 古川商業高 上遠野 孝一 |
| 昭和19年卒 青沼 康男 | 昭和40年卒 佐藤 寿哉 | 昭和49年卒 佐々木 光一路 | 昭和54年卒 高橋 光則 | 上遠野 智 |
| | 昭和41年卒 佐藤 久 | 昭和50年卒 大澤 邦敏 | | |



有明海峡大橋橋桁第1号架設(当社製作)

技術と品質で21世紀に飛翔する

代表取締役会長 遠山 仁一 (S.25卒)
東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号



【プラス鶴見グランドステージ(50戸)】

古高47年卒
代表取締役 小嶋 進
ハウジングセンター TEL 03 (3738) 5111

〒146 東京都大田区東矢口3-2-1
東京都知事(5)第41620
社団法人住宅産業開発協会会員